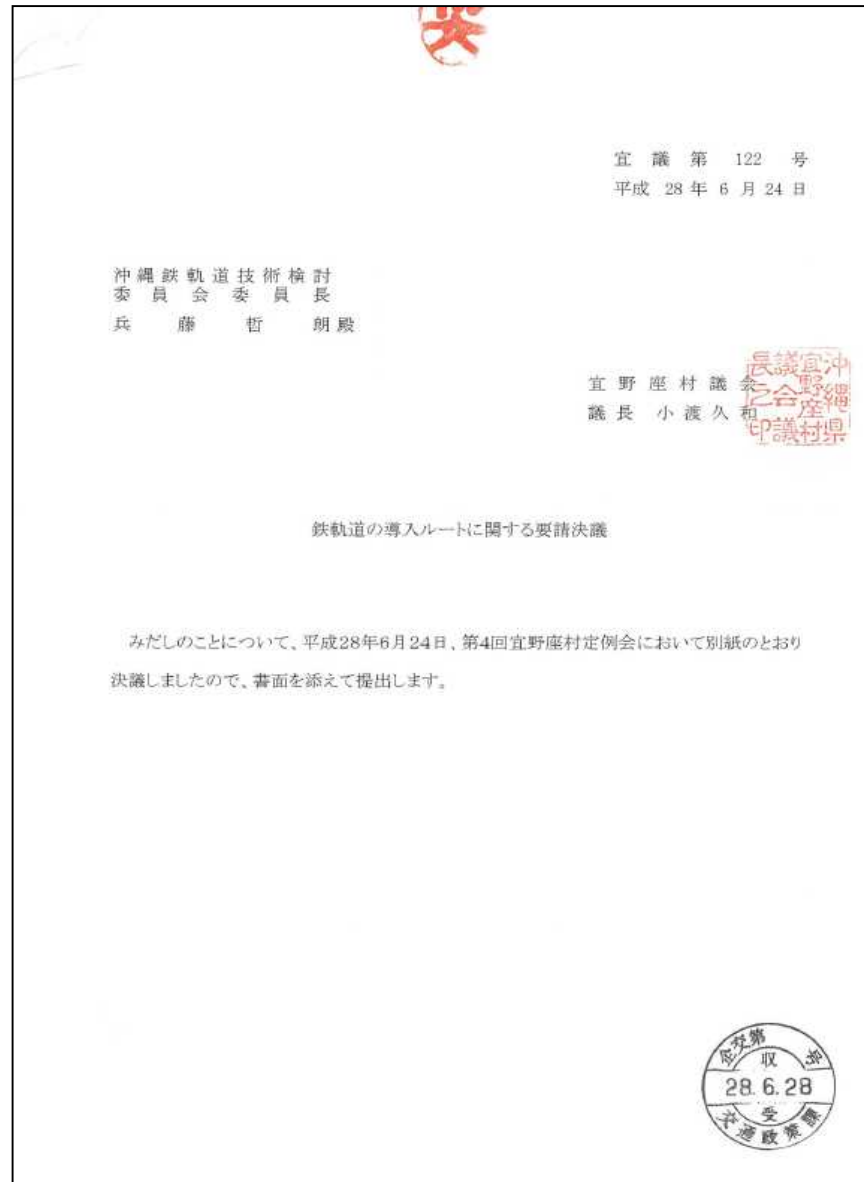


市町村からの要請について

平成28年10月28日
沖縄県

1. 宜野座村議会からの要請



2. 金武町議会からの要請

会議第 633 号
平成 28 年 8 月 22 日

沖縄鉄軌道技術検討委員会
委員長 兵藤 哲朗 殿

金武町議会
議長 高敷 義光

鉄軌道整備に係る中部東・北部東ルート（D案）の
実現に関する要請決議

平成 28 年第 4 回金武町議会定例会において、別紙のとおり要請決議を可決
したので提出します。

〒904-1292
金武町字金武1番地
金武町議会
電話 098-966-2292

28.8.26

鉄軌道整備に係る中部東・北部東ルート（D案）の実現に関する要請決議

沖縄は、基幹的公共交通システムである鉄道を有していない唯一の県である。
戦後、本土では戦禍を被った鉄道の復旧が進められてきたが、米軍統治下
にあった沖縄では、沖縄戦により壊滅した県営鉄道の復旧は行われてこなかった。
更に、広大な米軍基地の存在、基地周辺での無秩序な市街地の形成、広域道路網の
整備の遅れ及び急激な自動車交通増大などの歴史的・社会的事情は、慢性的な交通
渋滞、公共交通の衰退、環境負担の増大など、様々な問題を生じさせてきた。
そのような状況を克服すべく、「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」において、今後
の公共交通改善の政策課題の一つとして「小型鉄道」、「モノレール」、「LRT（次
世代路面電車）」などによる鉄軌道の導入が計画されており、鉄軌道技術検討委員
会では現在、基幹一各団間を 1 時間以内で結ぶ総延長 60～67 km の 4 ルート案を
検討中である。

本町における交通網は、国道 29 号、沖縄自動車道の幹線道路を有しているが、
公共交通機関は沖縄バスをのみ状況である。一般の通勤・通学及び米軍人・軍属の
車両等による交通渋滞を強いられ、住民生活に多大な影響を及ぼしている。また、
近年ではネイチャーみらい館での体験学習の受け入れや金武町ベースボールスタジ
アム、金武町フットボールセンターでのスポーツ合宿等の受け入れ、ギンバル訓練
場跡地における医療・リハビリ関連施設等が整備されたことによる人の往來の活発
化や、今後はホテル等の建設計画もあることから、交通渋滞の緩和が喫緊の課題で
ある。

鉄軌道導入は、住民生活の利便性の向上を図るとともに、朝夕のラッシュ時間帯
における渋滞緩和にも寄与されることが見込まれ、経済的にも有効な手段であると
思慮する。

よって本町議会は、鉄軌道の整備に関し、下記事項が実現されるよう強く要請
する。

記

1. 鉄軌道の整備については、県土の均衡ある発展と交通渋滞の緩和を目指す
観点から、4 ルート案のうち中部東・北部東ルート（D案）を採用すること。

平成 28 年 8 月 22 日
沖縄県金武町議会

3. 沖縄県議会における対応（宜野座村議会からの要請）

陳情番号 (受理年月日)	件名及びその要旨 (陳情者の職・氏名)	経過・処理方針等
<p>陳情平成28年第60号 (平28年6月28日)</p>	<p>件名 鉄軌道の導入ルートに関する陳情 陳情者 宜野座村字宜野座296番地 沖縄県宜野座村議会 議長 小渡 久和</p> <p>要旨 沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンの北部圏域における計画において県土の均衡ある発展のため鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に向けた取り組みが行われており、沖縄鉄軌道技術検討委員会では那覇市と名護市を結ぶ4ルート案が示されている。</p> <p>ところで、宜野座村における公共交通網は、国道329号、沖縄自動車道の幹線道路を有しているが、公共交通機関は沖縄バス1社による運行のみの状況であり、通勤・通学などの住民生活に不便が生じている。また、金武町から宜野座村に至る地域は、近年、スポーツや観光施設が整備され、スポーツ合宿や体験学習の受け入れが盛んになり、人の往来が活発になっている。さらに、大型リゾートの開発や情報産業の発展が期待される地域であることから雇用増大が見込まれている。</p> <p>鉄軌道の導入は、住民生活の利便性の向上を図るとともに、通勤時間帯における中南部地域の渋滞緩和にも寄与し、経済的にも有効な手段と思われる。また、東海岸側は、なだらかな丘陵地となっており、太平洋の雄大な景観を楽しむことができ、さらに用地の確保及び将来的な宅地造成についても優位性がある。</p> <p>については、鉄軌道の整備に関し、県土の均衡ある発展を目指す観点から、4ルート案のうち、中部東・北部東ルート案(D案)を採用するよう配慮してもらいたい。</p>	<p>鉄軌道の計画案づくりは、県民や市町村等と情報共有を図りながら、5つのステップで段階的に検討を進めており、現在は、複数のルート案の比較評価などを行うステップ4の段階に入っております。</p> <p>計画案づくりは、沖縄21世紀ビジョンで示された「沖縄の将来の姿」の実現や陸上交通の現状の課題解決の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県土の均衡ある発展 ・中南部都市圏の公共交通の整備による渋滞緩和 ・県民・観光客の移動利便性の向上 ・世界水準の観光リゾート地の形成 ・低炭素社会の実現 ・駐留軍用地跡地の活性化 <p>を図ることを目的に進めていることから、計画案づくりにあたっては、沖縄の将来を見据えた大局的な観点から、検討を行うことが重要と考えております。</p> <p>そのためルート案の選定にあたっては、事業の目的に照らし社会面、経済面、環境面等様々な観点から客観的、総合的に検討を行っていく必要があります。</p> <p>ステップ4以降では、複数のルート案について、県民や市町村等と情報共有を図りながら設定した評価項目に基づき、客観的評価を行い、よりよい案を選定していくこととしております。</p> <p>なお、比較評価結果についても、これまでの検討と同様、ニューズレターや市町村会議等を通じて、県民や市町村等に情報提供を行い、意見を頂きながら検討を進めていくこととしております。</p>

3. 沖縄県議会における対応（金武町議会からの要請）

陳情番号 (受理年月日)	件名及びその要旨 (陳情者の職・氏名)	経過・処理方針等
<p>陳情平成28年第90号 (平28年8月22日)</p>	<p>件名 鉄軌道整備に係る中部東・北部東ルート(D案)の実現に関する陳情 陳情者 金武町字金武1番地 沖縄県金武町議会 議長 嘉数 義光</p> <p>要旨 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」において、今後の公共交通改善の政策課題の一つとして鉄軌道の導入が計画されており、鉄軌道技術検討委員会では現在、那覇一名護間を1時間以内で結ぶ総延長60～67キロメートルの4ルート案を検討中である。 金武町における交通網は、国道329号、沖縄自動車道の幹線道路を有しているが、公共交通機関は沖縄バスのみであり、一般の通勤・通学及び米軍人・軍属の車両等による交通渋滞が住民生活に多大な影響を及ぼしている。さらに近年では、ネイチャーみらい館での体験学習の受け入れ、金武町ベースボールスタジアム及び金武町フットボールセンターでのスポーツ合宿等の受け入れ、ギンバル訓練場跡地整備による往来の活発化並びにホテル等の建設計画もあることから、交通渋滞の緩和は喫緊の課題である。 鉄軌道導入は、住民生活の利便性の向上を図るとともに、朝夕のラッシュ時間帯の渋滞緩和にも寄与することが見込まれ、経済的にも有効な手段であると思料する。 ついては、下記事項につき配慮してもらいたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 鉄軌道の整備については、県土の均衡ある発展と交通渋滞の緩和を目指す観点から、4ルート案のうち中部東・北部東ルート(D案)を採用すること。</p>	<p>宜野座村議会からの要請と同じ処理方針</p>